00

回 覧

井上地域公民館だより

こちらからホームページをご覧になれます

井上地域の人口
2025年2月1日現在
人　口 4,518人(+5)
世帯数 1,725戸(±0)

【2024-12号】
2025年3月1日
発行 井上地域公民館
☎ 026-246-2488

【募集】井上地域の豊かな水環境を見つめなおす学習会【2回シリーズ】

・日　時：3月15日(土)、3月22日(土) 両日とも午後1時30分～4時(予定)
・場所及び内容：3/15 井上地域公民館2階ホール(座学)、 3/22 井上地域の現地学習(屋外)
・講　師：長野県自然観察インストラクター　杉本　淳さん
・参加費：無料
・定員：50人
・申　込：定員になり次第締切
・申込・問合せ　井上地域公民館☎026－246－2488

2/14(金)きりのさと女性学級　2024活動総括及び2025活動計画(案)作成

11時から福祉施設へ必需品を贈るボランティア活動を行い、その後、2024年度の活動総括、2025年度の活動計画(案)を、旭日館で昼御飯を食べながら話し合いました。今年度は、地域の方々に声掛けを行い、加入促進を図ったところ、大勢の方にご加入いただきました。また、2025年度の取り決め事項は下記のとおりです。

(1) 2025年度から、女性学級定員を30名と定め、活動を行っていく。
(2) 1年に1回(年度切り替え時)、加入意志の確認を行う。
(3) 井上地域公民館だよりに掲載する活動報告を順番に書く。以上3点です、皆さんよろしくお願いします。

【おしらせ】4/1以降　コピー機(印刷)使用料の変更について

井上地域公民館のコピー機が入れ替えとなったため、
4月より使用料を変更します。

【用紙を持参する場合】
☆見直し前　1原稿150円
★見直し後　1枚0.5円換算で100枚単位の使用料
【総印刷枚数で金額を算出します】
例として、両面の原稿を230枚印刷
230枚×2＝460枚　早見表から250円となります。

【用紙を持参しない場合】(変更なし)
1枚10円　・用紙のサイズは関係ありません。
※なお、カラー印刷はできません。

早見表(見直し後)	
1～100枚	50円
101～200	100円
201～300	150円
301～400	200円
401～500	250円
501～600	300円
601～700	350円
701～800	400円
801～900	450円
901～1000	500円
以降100枚毎に50円を加算	

★ 井上Web文化祭2024
「須坂市HP➡井上地域公民館➡井上地域文化祭2024」として実施中。
是非ご覧いただき、ご意見等を寄せてください。

二次元コード
こちらから

各町公民分館のSDGs(エスディージーズ)　～2030 年までの達成をめざす持続可能な開発目標～

「誰一人取り残されることなく、この地球で幸せに暮らし続けるにはどうすればよいかを定めた国際的な目標」

昨年に引き続き、2025 年ブロック公民分館活動の取り組みとして、各町の公民分館の皆様にご協力いただき、持続可能な17の目標に照らし合わせ、各町の取り組みをリレー形式でお伝えします。

～ 井上町の SDGs ～

11. 住み続けられるまちづくりを

井上町では、コロナ禍後に、「里山歩き(歴史とロマンを訪ねて)」を再開しました。

昨年度は、新緑の5月に小学生22名を含む約50名の区民が参加し、講師の話をきいて井上の自然と歴史を学びつつ、初夏の里山を楽しみました。

わが町は、井上山の南側の麓に広がる集落で、古くから谷街道と大笹街道が交差する交通の要所でもありました。区内には井上枕状溶岩(県天然記念物)、山城の大城・小城・井上氏館跡(県史跡)など自然遺産、歴史的遺産が散在しています。

こうした遺産を整備するため、井上区の役員さんにより、里山遊歩道の整備等が毎年行われています。また、「井上城址さくらの会」の皆さんによる里山への桜の植樹が30年以上続いており、春には美しい山桜の里山風景を区民は堪能することができます。

このような歴史とロマンあふれる町に住んでいることに誇りと愛着をもち、世代から世代に受け継がれていくことが、区民の連帯と明るく住みやすい街づくりにつながっていくものと考えています。

2/21(金)　三邑会(さんゆうかい)街頭紙芝居師の口演及び 4年生総合的な学習のまとめ＆寿学級冬の講演会

井上小学校4年生が総合の時間を使い、地元(九反田町)出身の故・塩崎源一郎さんの紙芝居を「信州須紙芝居のさとプロジェクト」の方々に教えていただいたことを基に、自分たちで紙芝居や道具を作ったり、読み方(演じ方)の工夫や効果音楽を考えたりして、その成果を9月に保護者や一般の方に見ていただきました。その後、市内保育園児や幼稚園児の前での実践も重ねてきました。

今回、紙芝居の学習の総仕上げとして、大阪市にある「塩崎おとぎ紙芝居博物館　三邑会(さんゆうかい)」の街頭紙芝居師、古山千賀子さん、鶴谷光子さんをお招きし、塩崎源一郎さんのふるさとの物語「桐の木　母の木」を口演していただき、6年生を除く全児童が鑑賞しました。6時限目には、4年生が班ごとに製作した紙芝居を披露したり、プロの口演を鑑賞したりと総合的な学習のまとめを行うことができました。

また、寿学級冬の講演会として、地域の高齢者も4年生の発表や「桐の木　母の木」を一緒に鑑賞し、紙芝居の奥深さや、4年生の製作した紙芝居に笑いもあり和やかな時間を共有することができました。